

お知らせ



岡山県立博物館

担 当 者

岡崎・馬野・内池

電話番号

内線：5015

直通：086-272-1178

岡山県立博物館 令和 7 年度特別展 「岡山の文化と出会うー宗教美術から超絶技巧までー」 を開催します！

岡山県立博物館では、令和 7 年 11 月 28 日（金）より、令和 7 年度特別展「岡山の文化と出会うー宗教美術から超絶技巧までー」を開催します。

本館は、昭和 46 年（1971）の開館以来、岡山の歴史と文化を伝える施設として、県内ゆかりの文化財を幅広く収集・借用し、大切に保管・展示をしてきました。

本展覧会では、令和 8 年（2026）に、開館 55 年を迎えることを記念して、寄託品を含む収蔵品の中から美術工芸分野を特集し、2 期に分けて岡山を代表する文化財を一堂に公開します。本展が、県内ゆかりの文化財を多くの方々に知っていただき、改めて「岡山の文化と出会う」機会となれば幸いです。

美術分野では、仏画・仏像・神像などの宗教美術、そして四条派や文人画を中心に近世絵画を展観します。工芸分野では、備前・備中の誇る名刀や、岡山ゆかりの甲冑、近代に活躍した金工師である正阿弥勝義などの作品をご紹介します。ぜひ取材にお越しください。

記

- 1 会 期
 - <Ⅰ期> 令和 7 年 11 月 28 日（金）～令和 8 年 1 月 12 日（月・祝）
 - <Ⅱ期> 令和 8 年 1 月 17 日（土）～令和 8 年 3 月 8 日（日）
- 2 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時
- 3 休 館 日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
12 月 23 日（火）・28 日（日）～31 日（水）、2 月 10 日（火）
ただし、3 月 2 日（月）は岡山後楽園開園記念日のため開館、翌 3 日（火）休館。
- 4 入 館 料 大人 460 円、65 歳以上 230 円、高校生以下無料
※1 月 1 日（木・祝）は元日、3 月 2 日（月）は岡山後楽園開園記念日のため、入館料無料
- 5 主な展示品 別添資料のとおり

6 関連行事

<Ⅰ期>

【記念講演会】「やさしい日本刀のはなし」

日時：12月14日（日） 午後1時30分～午後3時

講師：宮入 小左衛門行平（恵）氏（刀工）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：120名（事前申込必要、先着順、聴講無料、別途入館料必要）

【2D仏像顔出し看板作り体験】

日時：12月21日（日） ①午前10時～ ②午前11時～

講師：ニシユキ氏（2D仏像顔出し看板アーティスト）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：各回6名（事前申込必要、先着順）

参加費：500円（材料代）※別途入館料必要

【等身大お釈迦様すごろく体験】

日時：12月21日（日） ①午後2時～ ②午後3時30分～

講師：ニシユキ氏（2D仏像顔出し看板アーティスト）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：各回4名（事前申込必要、先着順）

参加費：1,500円（材料代、お土産付き）※別途入館料必要

<申込方法>

「電子申請サービス」または「FAX」のいずれかの方法で、必要事項（氏名・ふりがな・電話番号・希望するイベント名・希望する時間を記入して申し込む。

FAX：086-272-1150



電子申請サービス

【学芸員による展示解説】

日時：仏教美術 11月29日（土）、12月27日（土）

刀剣・甲冑 12月6日（土）、1月10日（土）

午後2時～3時

会場：岡山県立博物館 2階展示室（事前申込不要、入館料必要）

<Ⅱ期>

【記念講演会】「県博の「宝物」に想いを馳せて」

日時：1月17日（土） 午後1時30分～午後3時

講師：守安 収氏（岡山県立美術館 館長）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：120名（事前申込必要、先着順、聴講無料、別途入館料必要）

【真鍮アクセサリ作り】

日時：2月15日（日） ①午前10時～ ②午後2時～

講師：村上 愛氏（金工作家）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：各回5名（事前申込必要、先着順）

参加費：①1,430円（円形2種・ドーナツ形・梅形）

②2,200円（菊形） ※別途入館料必要

< 申込方法 >

「電子申請サービス」または「F A X」のいずれかの方法で、必要事項（氏名・ふりがな・電話番号・希望するイベント名・希望する時間・種類（アクセサリーの形）を記入して申し込

F A X : 086-272-1150



【学芸員による展示解説】

電子申請サービス

日時：工芸品

1月24日（土）、2月21日（土）

神道美術・近世絵画

2月7日（土）、3月7日（土）

午後2時～3時

会場：岡山県立博物館 2階展示室（事前申込不要、入館料必要）

7 その他

開会式を11月28日（金）午前9時30分より、2階ホールで開催します。特別展の詳細については、別添特別展チラシ及び岡山県立博物館HPをご覧ください。

展示の見どころとおもな展示品

【見どころ】

- ・寄託品を含む収蔵品の中から美術工芸分野を特集し、Ⅰ期で仏教美術・刀剣・甲冑、Ⅱ期で神道美術・近世絵画・工芸品を展示します。タイトル通り、「宗教美術から超絶技巧まで」、盛りだくさんの内容です。
- ・岡山県内の代表的な美術工芸品を一堂に見ることができます。
展示品のうち、岡山県内の国指定重要文化財は20件以上、県指定重要文化財も20件以上展示します。

【おもな展示品】

Ⅰ期

りようがい まんだら す
両界曼荼羅図

重要文化財 2幅 鎌倉～南北朝時代 瀬戸内市・寶光寺蔵

両界曼荼羅は、密教の説く根本理念を図絵したもので、
金剛界と胎藏界から構成されます。本作は県内に残る両界
曼荼羅の作例としてはもっとも古い作例のひとつで、濃彩で
精緻に描かれた優品です。



あ み だにょらいざそう
阿弥陀如来坐像

岡山県指定重要文化財 1軀 集賢作 嘉暦4年(1329)

岡山県立博物館蔵

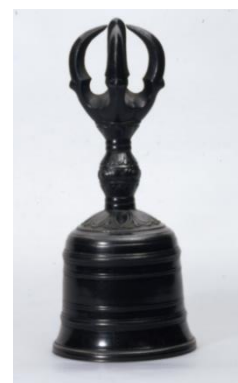
制作者、制作年が判明しており、県内の仏像の制作年代を考える上で基準作となる重要な仏像です。髻を高く結い宝冠をつけた姿も珍しく、常行堂に祀られる阿弥陀如来に特徴的なものです。



どうごこれい
銅五鈺鈴

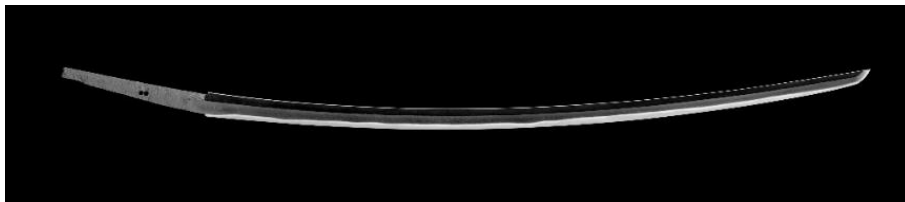
重要文化財 1口 建武5年(1338) 和気町・安養寺蔵

五鈺鈴は密教法具の一つで、鳴らすことで仏を歡喜させるとともに、心の中で眠っている仏性を呼びさますとされます。本作は、刻銘から、安養寺の了圓が建武5年に制作したことが分かります。南北朝時代の在銘がある五鈺鈴として貴重です。



たち めい のりむね
太刀 銘 則宗

重要文化財 1口 鎌倉時代初期 岡山県立博物館蔵



則宗は、鎌倉時代に備前国・長船(瀬戸内市長船町周辺)で栄えた「一文字派」^{いちもんじ}という流派を代表する刀工です。

本作は則宗の数少ない在銘品で、常陸国(茨城県)^{つちうら}の土浦藩主土屋家^{つちや}に伝来していました。

たち めい ながみつ
太刀 銘 長光

重要文化財 1口 鎌倉時代中期 岡山県立博物館蔵



長光は長船派^{おさふね}を代表する名工で、同流派の祖・光忠^{みつただ}の子とされています。

本作は長光の典型的な作風を示す一口で、出羽国(山形県)^{でわ}庄内藩^{しょうない}の菅家^{すが}に伝来したことから「庄内長光」と呼ばれています。

おおだち めい のりみつ
大太刀 銘 法光

銘 備州長船法光生年三十三文安二二年八月日/薬師寺弥五郎久用 生年廿一歳

岡山県指定重要文化財 1口 文安4年(1447) 岡山市・吉備津神社蔵



全長 377.3cm の全国最大級の大太刀です。裏銘の薬師寺弥五郎久用^{やくしじやごろうひさもち}は在地武将とみられ、本作を吉備津神社に奉納した人物とされています。



いろいろおどしかちゅう

色々威甲青

重要文化財

1領 室町時代

瀬戸内市・豊原北島神社蔵

室町時代前期(14世紀末～15世紀初頭)の製作と考えられている大鎧です。瀬戸内市の豊原北島神社に伝来し、治承・寿永の乱で活躍した佐々木盛綱が奉納したと伝えられています。



くれないいとすがけおとしぎんぱくおしにまいどうぐそく

紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足

岡山県指定重要文化財

1領 安土桃山～江戸時代

瀬戸内市・大賀島寺蔵

宇喜多基家(?～1581)所用の甲冑といわれ、宇喜多氏の菩提寺である大賀島寺に伝来しました。金箔押の烏帽子形兜の上部側面には穴が貫通しており、弾痕とみられています。

Ⅱ期

獅子

重要文化財 一对 平安時代 津山市・高野神社蔵

阿吽の一对の獅子です。顔を拝者に向けることなく、まっすぐ前を見据え胸を張って座ります。上半身を丸々と造り、下半身に掛けて小さくなだらかに収まる姿勢は古様です。



とら は は ちようず くらだりようざんひつ

虎に吠々鳥図 黒田綾山筆

8面 寛政8年(1796) 岡山県立博物館蔵

江戸時代の南画家・黒田綾山の若い頃の作品です。

綾山は岡本豊彦や白神皞々らの最初の師であり、多くの画家を育てました。本作は綾山には珍しい大作で、制作年の分かる作品として重要です。

岡山市・宝積院旧蔵。





にわとりこうろ
鶏 香炉

しょうあみかつよしさく
正阿弥勝義作

1合 明治時代

岡山県立博物館蔵

銀地の本体に鶏の意匠を取り入れた香炉です。

金・赤銅・素銅などの金属を組み合わせ、雛を見守る雄鶏と雌鶏、地中の虫をついばもうとする雌鶏など、様々な姿の鶏を表現しています。



ひな すつりかびん
雛 釣花瓶

正阿弥勝義作

1口 明治時代

岡山県立博物館蔵

釣花瓶型の文鎮で、ひよこの飼育に使用する稲藁製の巣を模しています。

巣の縁にとまる2羽の雛はそれぞれ青金と 朧 銀で作られ、金・銀・赤銅などで装飾されています。また、雛の視線の先には赤銅製の小さな蜘蛛がいます。



ついでくふうげつさんこんのすじくぼん
堆黒風月三昆虫之図軸盆

へんみどうよう
逸見東洋作

1口 大正時代

岡山県立博物館蔵

掛軸や巻子を置くための盆(軸盆)で、黒漆を塗り重ねたあと部分的に彫り下げて文様を表現する「堆黒」の技法が用いられています。

「風月三昆虫」は文人画の画題のひとつで、蓮・蘭・菊を意味します。本作では下から菊・蘭・蓮が配置されています。

令和7年度特別展



岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

岡山の文化と 出会う

—宗教美術から
超絶技巧まで—

I期
仏教美術
刀剣・甲冑



岡山県指定重要文化財 阿彌陀如来坐像 嘉暦4年(1329)
岡山県立博物館 (通期)

重要文化財 太刀銘則宗 鎌倉時代 岡山県立博物館
中村慧氏模像 (通期)



重要文化財 十二天像(伝増時筆) 月天 南北朝～室町時代 美作市・長福寺 (前期)



重要文化財 色々威甲冑 室町時代
瀬戸内市・豊原北島神社 (後期)

2025年
11月28日[金]

2026年
1月12日[月・祝]

開館時間：午前9時半～午後5時
(開会初日のみ午前10時開館)

休館日：毎週月曜日(1月12日を除く)
12月23日(火)・28日(日)～
31日(水)

入館料：大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料

※1月1日(木・祝)は無料開館

主催／岡山県教育委員会 岡山県立博物館

共催／山陽新聞社 RSK山陽放送

後援／OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送 oniビジョン (公財)岡山県郷土文化財団

岡山の文化と出会う

令和7年度特別展

宗教美術から超絶技巧まで 1期



1.



2.



3.



4.



5.



6.

岡山県立博物館は、岡山の歴史と文化を伝える施設です。昭和46年(1971)の開館以来、県内ゆかりの文化財を幅広く収集し、大切に保管と展示を行ってきました。本展覧会では、令和8年(2026)に、開館55年を迎えることを記念して、寄託品を含む収蔵品の中から美術工芸分野を特集し、2期に分けて岡山を代表する文化財を一堂に公開します。

I期では、仏画や仏像をはじめとする仏教美術と、備前・備中の刀剣、大鎧から当世具足までの甲冑をご紹介します。

1. 重要文化財 同昇曼荼羅図 鎌倉・南北朝時代 瀬戸内市・寛光寺(前期)
2. 重要文化財 愛染明王像 鎌倉・南北朝時代 矢野町・浄土寺(後期)
3. 岡山県指定重要文化財 弘永系慈蔵親王二枚割具足 安土桃山・江戸時代 瀬戸内市・大賀寺(前期)
4. 重要文化財 監誓菩薩白銀像 室町時代 瀬戸内市・通明院(後期)
5. 岡山県指定重要文化財 聖観音坐像 平安時代 真庭市・明徳寺 赤福滋氏撮影(通期)
6. 岡山県指定重要文化財 大木刀銘 備前長船法光 生年三十三 文安三年八月日 奉納寺 赤五郎久用 生年三十一 文安四年(1447) 岡山市・吉備津神社(前期)

前後期で大きく入れ替えます! お見逃しなく!

館蔵品クイズ

会場内のクイズに正解すると、記念シールをプレゼント! さらに、I期・II期のシールを集めると特別シールも!

予告

II期は1月17日(土)~3月8日(日)に開催! 神道美術・近世絵画・工芸品をご紹介します。お楽しみに!

- ① 記念講演会「やさしい日本刀のはなし」
日 時 12月14日(日)午後1時半~3時
講 師 宮入小左衛門行平(恵)氏(刀工)
会 場 岡山県立博物館 講堂
定 員 120名
(事前申し込み必要、先着順、入館料は別途必要)

- ② 学芸員による展示解説
日 時 仏教美術 11月29日(土)、12月27日(土)
刀剣・甲冑 12月6日(土)、1月10日(土)
午後2時~3時
会 場 岡山県立博物館 2階展示室
(事前申し込み不要、見学無料、入館料は必要)

- ③ 2D仏像顔出し看板作り体験
段ボールの仏像イラストに色を塗り、顔部分に自分の顔を当てはめて仏像になりきろう!

- ④ 等身大お釈迦様すごろく体験
双六のコマになり、お釈迦様の一生を追体験してみよう!

- ③・④
日 時 12月21日(日)
③ ①午前10時~ ②午前11時~
④ ①午後2時~ ②午後3時半~
*各回1時間程度
講 師 ニシユキ氏
(2D仏像顔出し看板アーティスト)
会 場 岡山県立博物館 講堂
(事前申し込み必要、先着順、入館料は別途必要)
定 員 ③ 各回6名 ④ 各回4名
参加費 ③ 500円(材料代) ④ 1,500円(材料代・お土産付き)

関連行事

申し込み方法 (①・③・④)

「岡山県電子申請サービス」「FAX」のいずれかの方法で、必要事項(①氏名・②よみがな・③電話番号・④希望するイベント名・⑤③・④のイベントは希望する時間)をご記入の上、「特別展イベント担当係」までお申し込みください。

FAX.086-272-1150 *最新情報は当館ホームページ等をご覧ください。電子申請サービス



交通のご案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から

- 徒歩(約25分)
- 路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)
- バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば)
岡電バス【藤原団地行】(約20分)「後楽園前」下車すぐ
- お車でのお越しの場合 山陽道岡山インターより約15分(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)

岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150
https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/





令和7年度特別展



岡山の文化と出会う



— 宗教美術から超絶技巧まで —

Ⅱ 期

神道美術・
近世絵画・工芸品



2026年

1月17日(土)～3月8日(日)

開館時間：午前9時半～午後5時

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、2月10日(火)。

ただし、3月2日(月)は岡山後楽園開園記念日のため無料開館、翌3日(火)休館。

入館料：大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料

(上段)岡山県指定重要文化財 女神像 平安時代 個人
鯉魚尽図盆 逸見東洋作 明治11年(1878) 岡山県立博物館 (後期のみ)
(中段)重要文化財 獅子 平安時代 津山市・高野神社
龍果釣花瓶 正阿弥勝義作(部分) 明治時代 岡山県立博物館
(下段)群鶏図香炉 正阿弥勝義作(部分) 明治時代 岡山県立博物館
妓女図 柴田義重筆(部分) 文化11年(1814) 岡山県立博物館 (前期のみ)

主催／岡山県教育委員会 岡山県立博物館

共催／山陽新聞社 RSK山陽放送

後援／OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送 oniビジョン (公財)岡山県郷土文化財団



岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.

8.

① 記念講演会「県博の『宝物』に想いを馳せて」
 日時 1月17日(土)午後1時半～3時
 講師 守安収氏(岡山県立美術館 館長)
 会場 岡山県立博物館 講堂
 定員 120名
 (事前申し込み必要、先着順、入館料は別途必要)

② 学芸員による展示解説
 日時 工芸品 1月24日(土)・2月21日(土)
 神道美術・近世絵画 2月7日(土)・3月7日(土)
 午後2時～3時
 会場 岡山県立博物館 2階展示室
 (事前申し込み不要、見学無料、入館料は必要)

③ 真鍮アクセサリー作り
 真鍮のプレートに金槌やタガネ・刻印を使って模様を描き、オリジナルのアクセサリー(ブローチまたはヘアゴム)を制作します。
 日時 2月15日(日)
 ①午前10時～ ②午後2時～
 ※各回1時間程度
 講師 村上愛氏(金工作家)
 会場 岡山県立博物館 講堂
 定員 各回5名
 参加費 ①1,430円(円形2種・ドーナツ形・梅形)
 ②2,200円(菊形)
 (材料代、全5種から1種選択)
 (事前申し込み必要、先着順、入館料は別途必要)

申し込み方法
 (①・③)

「岡山県電子申請サービス」「FAX」のいずれかの方法で、必要事項
 (①氏名・②よみがな・③電話番号・④希望するイベント名・⑤③のイ
 ントは希望する時間、種類)をご記入の上、「特別展イベント担当係」ま
 でお申し込みください。
 FAX.086-272-1150 *最新情報は当館ホームページ等をご覧ください。



電子申請サービス

岡山文化と出会う

令和7年度特別展
 宗教美術から超絶技巧まで Ⅱ期

岡山市・吉備津神社から
 獅子狛犬(重要文化財)も
 来てくれます!(2月11日以降)

岡山県立博物館は、岡山の歴史と文化を伝える施設です。
 昭和46年(1971)の開館以来、県内ゆかりの文化財
 を幅広く収集し、大切に保管と展示を行ってきました。
 本展覧会では、令和8年(2026)に、開館55年を
 迎えることを記念して、寄託品を含む収蔵品の中から美
 術工芸分野を特集し、2期に分けて岡山を代表する文化
 財を一堂に公開します。
 Ⅱ期では、神像・獅子・舞楽面などの神道美術、四条派
 や文人画を中心とした近世絵画、そして近代に活躍した
 金工師である正阿弥勝義などの作品をご紹介します。

1. 岡山市指定重要文化財 四社神明宮
室町時代 岡山市 持世院前庭の石
2. 岡山県指定重要文化財 男神坐像 平
安時代 真庭市 宇南寺 希福近景
3. 岡山県指定重要文化財 舞楽面 鎌倉
時代 真庭市 松田神社
4. 小堀季子 正阿弥勝義作 明治34年
(1901) 個人
5. 獅子彫刻 玉手箱舎 正阿弥勝義
作 明治時代 岡山県立博物館
6. 鑑蔵豹花瓶 正阿弥勝義作 明治時代
岡山県立博物館
7. 虎に爪 鳥岡 黒田康山 寛政8年
(1796) 岡山県立博物館(金8面
前後期1面)入替 江戸時代
岡山県立博物館(後期のみ)
8. 香心山楽園 清土堂 江戸時代
岡山県立博物館(後期のみ)

館蔵品
 クイズ

会場内のクイズに正解する
 と、記念シールをプレゼント!
 さらに、Ⅰ期(11月28日～1月
 12日)のシールを持ってきた
 方には特別シールも!



交通のご案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から

- 徒歩(約25分)
- 路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)
- バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば)
岡電バス(藤原団地行)(約20分)「後楽園前」下車すぐ
- お車で overs の場合 山陽道岡山インターより約15分
(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)

岡山県立博物館
 Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
 TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150
<https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/>

